



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月10日

上場会社名 株式会社ストライダーズ 上場取引所 東  
 コード番号 9816 URL <https://www.striders.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 早川 良太郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 兼 CFO (氏名) 梅原 純 TEL 03 (5777) 1891  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	5,704	△30.5	△34	ー	157	△17.8	136	5.6
2021年3月期第3四半期	8,213	△14.9	133	△51.7	192	△33.8	128	△34.4

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 126百万円(△1.2%) 2021年3月期第3四半期 128百万円(△44.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	16.04	ー
2021年3月期第3四半期	15.21	15.20

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	4,833	2,427	49.7	283.01
2021年3月期	5,230	2,321	43.4	267.38

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 2,401百万円 2021年3月期 2,269百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	ー	0.00	ー	3.00	3.00
2022年3月期	ー	0.00	ー	ー	ー
2022年3月期(予想)	ー	ー	ー	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,633	△27.2	△53	ー	139	△39.1	103	△9.5	12.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年3月期3Q	8,912,089株	2021年3月期	8,912,089株
2022年3月期3Q	425,139株	2021年3月期	425,139株
2022年3月期3Q	8,486,950株	2021年3月期3Q	8,471,965株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社グループは、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。「収益認識会計基準」等の適用に関する詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

### （1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済およびアジア経済は、新型コロナウイルス変異株の拡大に伴い、厳しい状況もありましたが、国内経済は10月以降、行動規制が徐々に緩和されたことを受け、持ち直しの動きも見られ始めています。また、アジア経済、特に当社グループの投資エクスポージャーが大きいインドネシア経済は依然として厳しい状況にあるものの持ち直しの動きも見られます。

このような経済状況下、当社グループ（当社及び連結子会社）は、引き続き、海外における新規投資機会の獲得活動を継続する一方、既存事業における経営の効率化、コロナ禍における事業戦略の検討等に取り組んでまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により、国内の投資用マンション取引が不況になってきたことや観光需要の回復の落ち込みといったことにより、当第3四半期連結累計期間は売上高5,704百万円（前年同四半期比30.5%減）、営業損失34百万円（前年同四半期は営業利益133百万円）、経常利益157百万円（前年同四半期比17.8%減）、税金等調整前四半期純利益172百万円（前年同四半期比15.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益136百万円（前年同四半期比5.6%増）となりました。なお、連結子会社でありましたPT. Citra Surya Komunikasi株式の一部を譲渡したことにより、第2四半期連結会計期間において関係会社株式売却益13百万円を計上しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 不動産事業

不動産事業につきましては、株式会社トラストアドバイザーズにおいてマンションオーナー向けのリーシング及び賃貸管理とマンション建物の受託管理を行うレジデンス事業、並びにマンションオーナーの購入・売却ニーズに対応する不動産売買事業を営んでおります。新型コロナウイルス感染症の影響としては、レジデンス事業における管理戸数、既往賃貸借契約の更新率や賃料水準に大きな変動はないものの、当第3四半期連結会計期間において稼働率が一時的に低下したこと、他方、不動産売買事業においては投資用マンション取引への影響が依然として大きく、売買取引が対前年同期比で大きく減少したことから、当第3四半期連結累計期間の不動産事業の売上高は4,648百万円（前年同四半期比31.7%減）、営業利益は119百万円（前年同四半期比48.3%減）となりました。

#### ② ホテル事業

ホテル事業につきましては、現在、成田空港エリアで成田ゲートウェイホテル、倉敷美観地区エリアで倉敷ロイヤルアートホテルを運営しております。成田ゲートウェイホテルは、新型コロナウイルス感染症の無症状者・軽症者向け療養施設として、2020年4月18日から千葉県に貸し出しており、以降、一般の利用者を受け入れておりません。倉敷ロイヤルアートホテルにおいては、10月以降、新型コロナウイルス変異株の感染状況が大きく改善したことを受け、当第3四半期連結会計期間のホテル宿泊者数が当上半期（第2四半期連結累計期間）比で増加した結果、当第3四半期連結累計期間のホテル事業の売上高は724百万円（前年同四半期比1.2%減）、営業利益は60百万円（前年同四半期比40.7%増）となりました。なお、当第3四半期連結累計期間において、両ホテルとも従業員の休業シフトの実施を継続した一方、雇用調整助成金等の政府・自治体による助成制度の特例措置も継続されたことに伴い、助成金収入148百万円（前年同四半期比47.7%増）を計上しております。

#### ③ 海外事業

海外事業につきましては、シンガポールにおいてStriders Global Investment Pte. Ltd. が投資事業を行うほか、インドネシアにおいてPT. Citra Surya Komunikasiが主として日系企業向けに広告代理店業務を行っていましたが、第2四半期連結会計期間において、業績不振の連結子会社PT. Citra Surya Komunikasi株式の一部を譲渡した結果、連結の範囲から除外しており、当第3四半期連結累計期間の海外事業としましては、売上高48百万円（前年同四半期比87.7%減）、営業損失82百万円（前年同四半期は営業損失5百万円）と、当上半期（第2四半期連結累計期間）と比べ、ほとんど変動していません。

Striders Global Investment Pte. Ltd.における投資事業の進捗といたしましては、2018年10月に投資したRoar Media社（スリランカとバングラデシュにおけるデジタル・メディアプラットフォーム）においてMeta社の独占広告リセールス事業を展開する関連会社を吸収合併（2021年4月）、インドネシアにおいて有望なスタートアップ企業を選別し、投資と経営支援を実施するIndogen Capital Fund II, L.P.にUSD100,000を投資（2021年6月）、AGRITHMICS社（スリランカの小規模農家を対象として商品生産工場への収穫物の納品プロセスのDX化を推進するSAAS企業）にUSD75,000を投資（2021年12月）しております。

## （2）財政状態に関する説明

### （資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,033百万円となり、前連結会計年度末に比べ334百万円減少いたしました。これは主に、第2四半期連結会計期間において連結の範囲から除外したPT. Citra Surya Komunikasiの現金及び預金の減少116百万円と、当第3四半期連結累計期間における国内グループ会社の負債の減少により、現金及び預金が303百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は1,800百万円となり、前連結会計年度末に比べ62百万円減少いたしました。これは主に建物及び構築物（純額）が42百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は4,833百万円となり、前連結会計年度末に比べ396百万円減少いたしました。

### （負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は828百万円となり、前連結会計年度末に比べ223百万円減少いたしました。これは主に未払法人税等が64百万円、預り金が33百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は1,576百万円となり、前連結会計年度末に比べ280百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が90百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,405百万円となり、前連結会計年度末に比べ503百万円減少いたしました。

### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は2,427百万円となり、前連結会計年度末に比べ106百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益136百万円を計上した一方で、剰余金の配当25百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は49.7%（前連結会計年度末は43.4%）となりました。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年11月11日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想を変更しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,894,896	2,590,949
売掛金	180,641	157,747
有価証券	4,587	439
棚卸資産	208,930	165,740
その他	108,093	120,982
貸倒引当金	△29,846	△2,662
流動資産合計	3,367,302	3,033,195
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	868,983	826,452
土地	348,663	348,663
その他（純額）	99,920	72,366
有形固定資産合計	1,317,567	1,247,482
無形固定資産		
のれん	107,619	101,527
その他	18,943	18,477
無形固定資産合計	126,562	120,005
投資その他の資産		
投資有価証券	231,050	272,322
関係会社株式	82,551	71,532
繰延税金資産	28,593	16,360
その他	76,858	72,520
貸倒引当金	△285	△190
投資その他の資産合計	418,768	432,544
固定資産合計	1,862,898	1,800,031
資産合計	5,230,200	4,833,227

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	124,036	105,111
短期借入金	11,512	10,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	150,376	128,488
前受収益	185,212	169,285
未払費用	78,748	96,827
未払金	72,661	52,836
未払法人税等	75,442	11,048
賞与引当金	27,712	8,337
預り金	123,880	90,710
金利スワップ	15,017	9,752
その他	126,944	86,068
流動負債合計	1,051,545	828,465
固定負債		
社債	260,000	210,000
長期借入金	1,109,224	1,018,461
退職給付に係る負債	61,805	10,821
長期預り敷金保証金	192,470	163,331
繰延税金負債	159,126	154,915
その他	74,969	19,466
固定負債合計	1,857,595	1,576,995
負債合計	2,909,140	2,405,461
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,585,938	1,585,938
資本剰余金	109,730	109,730
利益剰余金	732,817	847,050
自己株式	△144,848	△144,848
株主資本合計	2,283,637	2,397,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,599	9,543
繰延ヘッジ損益	△14,834	△9,660
為替換算調整勘定	△2,373	4,165
退職給付に係る調整累計額	△5,815	—
その他の包括利益累計額合計	△14,424	4,048
新株予約権	3,375	3,375
非支配株主持分	48,471	22,472
純資産合計	2,321,059	2,427,766
負債純資産合計	5,230,200	4,833,227

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	8,213,191	5,704,754
売上原価	6,652,449	4,363,564
売上総利益	1,560,742	1,341,190
販売費及び一般管理費	1,426,930	1,375,194
営業利益又は営業損失(△)	133,811	△34,004
営業外収益		
受取利息	2,072	855
受取配当金	272	1
受取手数料	27,552	29,772
有価証券売却益	926	1,017
為替差益	—	4,650
持分法による投資利益	—	2,480
助成金収入	100,462	148,372
その他	6,507	22,322
営業外収益合計	137,794	209,472
営業外費用		
支払利息	11,307	11,161
社債利息	1,869	1,592
持分法による投資損失	53,762	—
為替差損	9,482	—
その他	3,182	4,848
営業外費用合計	79,604	17,602
経常利益	192,001	157,865
特別利益		
関係会社株式売却益	6,157	13,284
持分変動利益	4,958	—
投資有価証券売却益	—	1,539
特別利益合計	11,116	14,824
特別損失		
固定資産売却損	—	292
固定資産除却損	778	—
投資有価証券売却損	—	127
その他	33	—
特別損失合計	811	419
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	202,306	172,270
匿名組合損益分配額	△2,527	—
税金等調整前四半期純利益	204,833	172,270
法人税、住民税及び事業税	81,885	67,072
法人税等調整額	△4,266	△4,210
法人税等合計	77,618	62,862
四半期純利益	127,214	109,408
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,656	△26,724
親会社株主に帰属する四半期純利益	128,871	136,133



## (四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	127,214	109,408
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,313	3,774
繰延ヘッジ損益	4,742	5,173
為替換算調整勘定	△7,880	4,038
退職給付に係る調整額	2,062	4,523
その他の包括利益合計	1,237	17,509
四半期包括利益	128,452	126,918
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	132,413	152,918
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,960	△25,999

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響及び利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はございません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産事業	ホテル事業	海外事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,801,922	732,874	397,561	7,932,358	280,833	8,213,191	—	8,213,191
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	240	—	240	—	240	△240	—
計	6,801,922	733,115	397,561	7,932,599	280,833	8,213,432	△240	8,213,191
セグメント利益又は損失(△)	231,812	42,650	△5,245	269,217	13,025	282,243	△148,432	133,811

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT関連事業、食品関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△148,432千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産事業	ホテル事業	海外事業	計				
売上高								
顧客との契約から生じる収益	4,648,235	723,905	48,984	5,421,125	283,628	5,704,754	—	5,704,754
外部顧客への売上高	4,648,235	723,905	48,984	5,421,125	283,628	5,704,754	—	5,704,754
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	306	—	306	—	306	△306	—
計	4,648,235	724,212	48,984	5,421,432	283,628	5,705,061	△306	5,704,754
セグメント利益又は損失(△)	119,784	60,000	△82,943	96,841	44,516	141,357	△175,362	△34,004

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、IT関連事業、食品関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△175,362千円は、主に管理部門にかかる人件費及び経費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しておりますが、当該変更により、当第3四半期連結累計期間の売上高、セグメント利益に与える影響はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。